

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスマーベラス			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 13日		～	2025年 4月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	102	(回答者数)	62
○従業者評価実施期間	2025年 3月 13日		～	2025年 3月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	18
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 23日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	選択活動の多さ、利用者が自主的に選択する仕組み	利用者ごとの興味関心に応じられるよう、選択活動は複数用意されており、利用者の主体的な活動への参加と満足度の向上を促している。	将来的な自立にもつながる活動(調理、買い物体験、PC操作など)を提供する。 うるさい環境が苦手な利用者のための静かで落ち着ける環境・活動を提供する。
2	保護者対応と相談体制の充実	電話やLINEにより日々の様子の共有やトラブル発生時の迅速な対応をしている。また、面談では保護者の相談に丁寧に耳を傾けるよう取り組んでいる。	ペアレントトレーニングを実施する。保護者向けに発達特性への理解や対応スキルを高める勉強会を提供する。
3	保護者が交流する機会の提供	月に1度の茶話会や保護者参加可のイベントの実施により、保護者同士で不安を相談したり、意見交換したりする機会を提供している。	きょうだい児も参加でき、家族ぐるみで楽しめるイベントを設け、家庭全体を支援する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信不足	実施している取り組みが保護者に十分に伝わっておらず、不安や疑問が生じている。	新しい職員や、防災訓練の実施、安全対策、マニュアル整備などについて、毎月のお便りやSNSの活用し、情報を発信する。
2	利用者が通所に不安や抵抗感を感じる場合がある	他の利用者との相性による不安、長期休暇後の利用再開時に感じる不安、外出に対する拒否感があり、利用者が通所を渋ることがある。	活動の時間帯やグループ分けを調整する、静かな空間への誘導するなど、個別に対応する。 また、保護者と頻繁に情報を共有し、利用者が抱える不安や問題に対して協力して対応する。
3	環境の整備	部屋の用途のわかりにくさ。	イラストやわかりやすい言葉を使用して各部屋の表示をする。